



NPO 法人化を協議していますーアンケートにご協力ください

CIF ジャパン役員会では、このたび、本会の NPO 法人化を推進する必要があると判断いたしました。そこで会員各位のご意向を聴取し、総会で審議の上、了承をえられた暁には、正式に申請手続きに移りたいと考えております。「NPO 法人化推進の趣旨（本紙 2 ページ）」をご覧ください、会員各位の忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

添付のアンケート用紙にご記入のうえ、E-メール、ファックス、または郵送にて **5 月 10 日**までに返送願います。

CIF ジャパンの NPO 法人化について

会長 竹内 和利

CIF ジャパンの法人化は、現役員会でもこれまでたびたび議題に取り上げ審議してまいりました。唯、いつも懸案事項にとどまり、どちらかといえば、時期尚早として処理してまいったように思います。

では今回なぜ話題に上げたのかと申しますと、やはり昨年からはじめた国際研修参加者支援事業が期待に反して軌道に乗らないことが第 1 の理由であると思います。尤も法人化の実現によってその事業が直ちに進展するわけではありませんが、その他に本紙掲載の趣旨説明にも述べましたように、いくつか考慮すべき必要があると考えます。それらにつきまして、会員各位のご意見をアンケートへのご回答としてご教示頂きますようお願い申し上げます。皆様のご賛同を頂ければ、次回の総会にてあらためて正式にご審議を頂き、議決された際には、なるべく早い時期に申請の手続きに入りたいと考えております。

翻って法人化に先立って CIF ジャパンが、これから果しうる役割、望まれる事業などを思い描こうとしますと、やはり CIP の創設者オーレ

ンドルフ博士の理想、即ち「人的サービス従事者の交流と共同研鑽による国際理解と国際平和の実現」が蘇ってまいります。いつも博士の理想に立ち返り、今日の地球社会、課題の多いわが国の社会状況をも視野に、今後の事業や活動の展開を考えていくことが肝要であろうとおもいます。

この機に及んで病気ご療養中にもかかわらず前事務局長小池嘉夫氏から、氏をご在任中に NPO 法人化のためご尽力された経緯とご苦労の跡を、はじめて詳細にお伝え頂きました。小池前事務局長のご厚情にこころより感謝を申し上げます。氏のご尽力を無にすることがないよう、会員各位のご支援を得て、今後さらに前進を遂げたいと切望いたします。

尚、おわりに一言お断りを申し上げますが、2007 年 9 月、前田大作前会長の後を承けて現役員が選出されてより、既に 2 年の任期が過ぎてしまいました。遅ればせながら次回の総会において、役員改選を執りおこないたいと思いますので、ご了承の程お願い申し上げます。

目次

NPO 法人化推進の趣旨	p.2
意見紹介	p.3
NPO 法人設立までの流れ	p.5
NPO 法人化作業報告書(前事務局長報告)	p.6